

県の回答（対応状況等）

令和 6 年 12 月 17 日

（ご意見標題）県が堀江貴文氏の講演会の後援になっていることについて

（担当課）保健医療介護部健康長寿課

（ご意見要約）

令和 6 年 11 月 14 日の琉球新報等で堀江貴文氏が、「住民の危険よりもジュゴンが大事」と発言していることが報じられた。沖縄の米軍基地による問題は、容認・反対の意見の違いがあっても、県も市町村も、そして県民一人一人にとって重い現実問題で、辺野古はその最たる問題の一つであり、ジュゴン問題も関連する自然破壊の象徴的なものである。

そのような発言をしている堀江氏の講演会を、沖縄県が後援するのは不適切であり、今からでも取り消してほしいと思う。

（回 答）

ご意見のありました講演会は、県民の健康意識向上並びに健康行動の促進を図るための健康づくり情報の普及啓発として「睡眠と健康」をメインテーマに、名嘉村博氏、堀江貴文氏を招聘し、睡眠の大切さや質の良い睡眠を得る方法、また、夜型生活習慣の改善につながることを目的に、公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団が主催するものです。その目的を達成するため、実業家として活躍しながら自身の YouTube やブログで睡眠の大切さを発信する堀江貴文氏を起用したと聞いております。

令和 6 年 10 月 30 日、公益財団法人沖縄県保健医療福祉事業団から沖縄県に対して後援依頼があり、申請内容を審査した結果、県の健康増進計画である健康おきなわ 21（第 3 次）に関する諸施策推進上効果が認められ、また、保健医療介護部関係団体が主催するものであり、さらに、県民の健康づくりに関する正しい知識の普及啓発に寄与するものであることから、後援承認を決定したところであります。